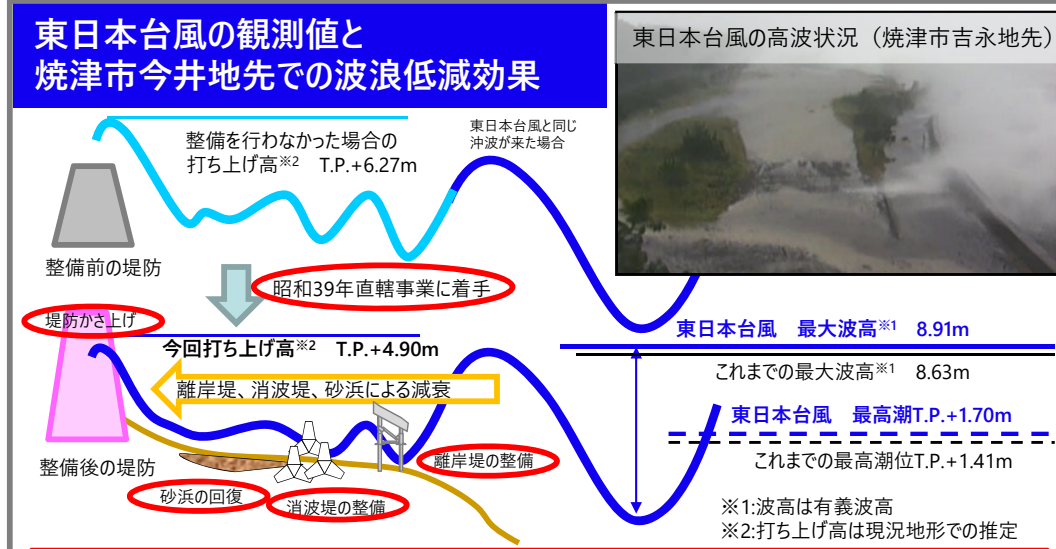


# 海岸保全施設(堤防、離岸堤等)の整備により駿河湾沿岸の高波被害を防止(国土交通省)

- 駿河海岸(静岡県)では、令和元年東日本台風において、観測史上最高の潮位 T.P.+1.70m(清水港)と波高 8.91m(駿河海岸沖)を記録。
- これまでの海岸保全施設の整備がなければ、約 5,000 戸の家屋と約 700 事業所の工場へ浸水被害の発生が想定。
- 駿河海岸の海岸保全施設(堤防・消波堤・離岸堤)の整備によって、一部区間での越波はあったものの、焼津市・吉田町・牧之原市の高波被害を防止。被害防止の効果は推定約 2,900 億円。



| 事業         | 対策内容                   | 事業費    | 対策期間    |
|------------|------------------------|--------|---------|
| 海岸保全施設整備事業 | 堤防、離岸堤、養浜、粘り強い構造の海岸堤防等 | 約554億円 | S39~R16 |
| うち、3か年緊急対策 | 離岸堤、粘り強い構造の海岸堤防等       | 約25億円  | H30~R2  |



## 海岸保全施設の整備によって浸水被害を防止

